

【11/30日（土）開催・要申込】

広島大学 75+75 周年記念事業
広島大学大学院マネジメント専攻／プログラム 25 周年記念シンポジウム

『脱都市化の時代の都市を構想する：150 年先の広島へ』

開催のご案内

このたび、広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻マネジメントプログラムでは、『脱都市化の時代の都市を構想する：150 年先の広島へ』というテーマでシンポジウムを開催することとなりました。

この講演会では、都市づくり、新交通システム、建築、都市と森林の連関などに関して豊富な経験と知識を有しておられる各分野の第一人者による講演とパネルディスカッションを行います。ぜひ参加される皆様とともに、広島の未来、都市とその周囲の地域の未来について考える機会にしたいと考えております。ふるってご参加いただけますと幸いです。

開催概要

- 開催日時：2024 年 11 月 30 日（土）13：00～18：00
- 開催場所：広島大学 東千田キャンパス 東千田未来創生センター4F M401/M402
広島市中区東千田町 1-1-89
<https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/209154/地図・アクセス.pdf>
(無料の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。)
- プログラム
13：00 開会の辞 秋山 高志（マネジメントプログラム准教授）
シンポジウム実行委員長挨拶 築達 延征（マネジメントプログラム長）
13：05 広島大学大学院人間社会科学研究科長挨拶 松見 法男
13：10～13：40 講演 1『広島の都市づくり：過去を振り返り今後を考える』
戸田 常一（安田女子大学教授・広島大学名誉教授）
13：45～14：15 講演 2『LRT の地域活性化への影響』
中尾 正俊（宇都宮ライトレール株式会社常務取締役、元広島電鉄株式会社常務取締役）
14：20～14：50 講演 3『資源的人のための建築・都市・社会』
塚本 由晴（アトリエ・ワン、東京工業大学大学院教授）
14：55～15：25 講演 4『里海、里山、深山の連関に在る流域都市広島、その可能性』
竹本 吉輝（株式会社トビムシ代表取締役）

15：25～15：40 休憩

15：40～17：55 パネルディスカッション

モデレーター：松嶋 健（マネジメントプログラム教授）

パネリスト：戸田 常一、中尾 正俊、塚本 由晴、竹本 吉輝
後藤 昇（マネジメントプログラム客員教授）

松田 智仁（元広島市都市計画局都市政策部都市政策担当課長）

18：00 閉会（予定）

- 申込方法：以下の参加申込フォームから申込をして下さい。会場定員の関係から、参加者を先着 300 名様とさせていただきます（申込：9月30日～11月15日 17:00）
（お申込フォームへのリンク）

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=3VQExGOyJkmGjY4SZA03UL-ugdgg6_VBnR0XugT2b2VUMkdGU0tHV0NaSExXVzZLQ09BNUwyTINSMS4u

- 参加費：無料
- 懇親会：シンポジウム終了後に、登壇者も参加する懇親会を開催いたします。参加をご希望される方は、シンポジウムの申込と同時に、上記のお申込フォームから申込を行なって下さい（先着 50 名様）。
開催時刻：シンポジウム終了後の 18:30～20:00
開催場所：広島大学 東千田キャンパス L 棟 5 階 Senda Labo
参加費：おひとり様 2000 円

<お問い合わせ>

マネジメント専攻／プログラム 25 周年記念シンポジウム事務局

TEL：082-542-6962

E-mail：knakamu@hiroshima-u.ac.jp

広島大学 75+75 周年記念事業
広島大学大学院 マネジメント専攻 / プログラム 25 周年記念シンポジウム

150年 先の 広島へ

脱都市化の時代の
都市を構想する

2024年11月30日(土) 13:00-18:00

[会場] 広島大学 東千田キャンパス 東千田未来創生センター 4F (M401 / M402)
〒730-0053 広島市中区東千田町1-1-89

[参加費] 無料・要申込 ※ 本チラシ裏面のQRコードからお申込みください。

[申込期間] 2024年9月30日(月) - 11月15日(金) ※ 先着300名

主催：広島大学大学院人間社会科学研究科人文社会科学専攻マネジメントプログラム
共催：広島大学大学院人間社会科学研究科、広島大学マネジメント学会、広島大学マネジメント研究センター



広島大学 75+75 周年記念事業

広島大学大学院 マネジメント専攻 / プログラム 25 周年記念シンポジウム

脱都市化の時代の都市を構想する

150 年先の広島へ

「人新世」と呼ばれる現在の地球的な危機をもたらした原因の一つは、近代における「都市化」の進展です。「都市化」は人々の集住により経済成長を促す一方で、食やエネルギーなど生存基盤の大部分を都市の外部に依存するような仕組みを作ってきました。しかもそうした依存そのものと自らの脆弱性を忘却してきました。それが、人間や他の生物、地域の生態系から地球にいたる「つながりの中での健康と平和」を害してきた大きな要因です。気候変動、自然災害、感染症、環境汚染といった現象は、人間が生きることに関わる諸問題と深いところでつながっています。

そうしたなか、これまでの都市と生活と産業のあり方を見直し、都市を再び都市の外部との連関のなかで捉え直し、脱都市化していくという動きが世界各地の都市とその周辺で生まれています。脱都市化とは必ずしも都市から田舎に移住したり、産業を移したりということではなく、外部から切り離され、機能分化した施設や空間をつなぐインフラのネットワークとしてデザインされている 20 世紀的な都市を、都市の外とのつながりの中で再想像しリデザインしようとするものです。

社会的人口が減少しつつある現在、そこに 20 世紀的な価値観のまま再び人を呼ぼうとするのではなく、これを好機と捉え、新たな都市の生活と生業のあり方について共に考えようというのがこのシンポジウムの趣旨です。里海と里山が近く、さらには奥山、深山を有している瀬戸内の都市広島は、この問題を考える上で、世界的にも稀に見るほど恵まれた環境にあります。これからの 150 年の世界の方向性を、「都市のかたち」として提示する「広島モデル」を構想し、共有する機会にできればと強く望んでおります。

[プログラム]

13:00 開会 シンポジウム実行委員長挨拶 築達 延征

13:10-13:40 講演 1 『広島の都市づくり:過去を振り返り今後を考える』
戸田 常一

13:45-14:15 講演 2 『LRTの地域活性化への影響』
中尾 正俊

14:20-14:50 講演 3 『資源的人のための建築・都市・社会』
塚本 由晴

14:55-15:25 講演 4 『里海、里山、深山の連関に在る流域都市
広島、その可能性』
竹本 吉輝

15:40-17:55 パネルディスカッション

モデレーター: 松嶋 健

パネリスト: 戸田 常一、中尾 正俊、塚本 由晴、
竹本 吉輝、後藤 昇、松田 智仁

18:00 閉会 (予定)

[日時] 2024 年 11 月 30 日 (土) 13:00-18:00

[会場] 広島大学 東千田キャンパス 東千田未来創生センター 4F (M401 / M402)

【会場マップ】 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/system/files/209154/地図・アクセス.pdf>

(Web ページタイトル「東千田 未来創生センター B 棟 A 棟 S 棟 C 棟 入口」)

※ 無料の駐車場はありません。公共交通機関をご利用ください。

[参加費] 無料・要申込 [申込期間] 2024 年 9 月 30 日 (月) - 11 月 15 日 (金) ※ 先着 300 名 ※ お申込みフォーム▶

[お問合せ] マネジメント専攻 / プログラム 25 周年記念シンポジウム事務局 E-mail: knakamu@hiroshima-u.ac.jp

[登壇者プロフィール] ※登壇順

戸田 常一 TODA Tsunekazu

安田女子大学教授・広島大学名誉教授
広島市商工センター地区まちづくりビジョン検討会座長
中国地域創造研究センター調査事業推進委員会委員長
著書に『地域政策の道標』『瀬戸内海を里海に』他。



中尾 正俊 NAKAO Masatoshi

宇都宮ライトレール株式会社常務取締役
鉄道総合技術研究所鉄道技術推進センターレールアドバイザー
中国運輸局地域公共交通アドバイザー
元広島電鉄株式会社常務取締役電車カンパニープレジデント



塚本 由晴 TSUKAMOTO Yoshiharu

アトリエ・ワン / 東京工業大学大学院教授
建築、公共空間デザイン、展覧会キュレーションなど幅広い活動を展開。2022 年 Wolf Prize 受賞。建築作品に、ハハ・ハウス、尾道駅、恋する豚研究所、みやしたこうえん、BMW Guggenheim Lab など。著書に『メイド・イン・トーキョー』『Behaviorology』『コモナリティーズ』他。



竹本 吉輝 TAKEMOTO Yoshiteru

株式会社トビムシ代表取締役
自ら設立・出資した事業組織として、西粟倉・森の学校、東京・森と市庭、飛騨の森でクマは踊る、八女里山賃貸株式会社、海士町未来投資委員会、萩・森倫館、もりまち、あしがら森の会議、ニセコ雪森考舎、資源循環推進協議会など。国内環境政策立案にも多数関与している。



後藤 昇 GOTO Noboru

広島大学大学院人間社会科学研究所マネジメントプログラム客員教授
ONOMICHI U2 プロデューサー
尾道市民のプラットフォーム事務局長
元広島県地域政策局海の道プロジェクト担当部長

松田 智仁 MATSUDA Tomohito

元広島市都市計画局都市政策部都市政策担当課長
元広島市工業技術センター所長
元広島市江波山気象館館長
元広島市こども文化科学館館長

松嶋 健 MATSUSHIMA Takeshi

広島大学大学院人間社会科学研究所マネジメントプログラム教授
専門は人類学。著書に『プシコ ナウティカ:イタリア精神医療の人類学』『文化人類学の思考法』『世界の手触り』『環世界の人文学』他。

シンポジウム終了後 (18:30-20:00) 懇親会 (有料) を予定しています。

